



## 『日本循環器学会専門医研修施設』『日本心血管インターベンション学会研修関連施設』

### ○循環器内科 勤務医師紹介

役職	医師名	卒業大学名	卒年	取得資格及び得意分野
院長	大友 敏行	関西医科大学	S50	医学博士、日本内科学会認定内科医、日本循環器学会専門医、日本高血圧学会指導医、日本医師会認定産業医、日本人間ドック学会専門医
副院長	近藤 盛彦	島根大学	S62	医学博士、日本内科学会認定内科医、日本心血管インターベンション治療学会指導医、京都府立医科大学臨床教授 日本プライマリ・ケア学会認定医・指導医、日本医師会産業医
部長	田中 哲也	京都府立医科大学	H2	医学博士、日本内科学会認定内科医、日本循環器学会専門医、日本心血管インターベンション治療学会専門医、日本核医学会専門医、京都府立医科大学臨床准教授
医長	田中 麻里子	福井医科大学	H9	日本内科学会認定内科医 日本内科学会総合内科専門医 日本循環器学会専門医 日本不整脈学会専門医 ICD/CRT研修終了 臨床研修指導医研修終了
心臓血管治療センター長	馬崎 徹	九州大学	H16	日本内科学会認定内科医・総合内科専門医、日本循環器学会専門医、日本インターベンション治療学会認定医、日本医師会産業医
医長	下田 義晃	京都府立医科大学	H19	日本内科学会認定内科医
医員	大岡 順一	関西医科大学	H20	医学博士 日本内科学会認定内科医
専攻医	田谷 俊彦	高知大学	H25	

### ◎当院の循環器内科とは

当院の循環器内科は、心不全・狭心症・心筋梗塞・心筋症・弁膜症・不整脈(アブレーション治療)・高血圧・高脂血症などの治療を専門に診療にあたっています。近年では、心臓カテーテル検査数が増加をたどり、PCIも年間400例近い件数となりました。今後も症例増加の見込みがあり症例経験を積みたい、専門医取得を目指す方には最適な環境です。

当院では日本循環器学会専門医研修施設、心血管インターベンション学会認定研修関連施設、浅大腿動脈ステントグラフト実施施設の認定を受けており、平成30年4月からはアブレーション治療も本格的に始動し、診療科全体で医療の質の向上を目指しています。

ベッド数は一般病棟25床、他にIABPやPCPSといった治療器機を備えたICU(CCU兼ねる)が6床あり、救急患者さんの受入れは24時間体制で行っており、夜間や休日でもカテーテル検査治療が可能です。他院との連携も活発で、年数回の症例検討会を神戸労災病院の心臓血管外科と共に実施しています。地域の開業医の先生方とも紹介患者さんの経過報告や医療セミナーを通じて交流しています。

### ◎循環器内科の特色

#### 【2016年度の主な実績】

心エコー	3297件	心臓カテーテル検査	620件
心臓核医学検査(心筋シンチ)	444件	経皮的冠動脈形成術(ステント含む)	316件
冠動脈CT検査	449件	ペースメーカー埋込術	45件



スタッフの充実に伴い、症例数も増加し、アンジオ室の利用度も高くなりました。平成29年3月より心臓血管治療センターを設立し、循環器内科専用のアンジオ室が完成しました。





### ◎センター長からのコメント

当院の循環器内科は、専門分野に特化した治療を行っています。専門医も複数在籍しており、多くの症例に携わる環境や専門医取得を目指す指導体制が整っています。心臓カテーテル検査数もここ数年増加傾向にあり、PCIなどは年間400例にちかい症例数となりつつあります。より多くの症例を自ら執刀したい方には、思う存分力を発揮して頂ける環境といえます。緊急度の高い診療科ではありますが、スタッフ、設備の充実など、症例を豊富に経験するだけでなく、仕事とプライベートにメリハリをつけたい方に最適な環境です。

### ◎勤務状況はいかがですか？

平成28年4月より、院長を筆頭に常勤8名の体制となり、柔軟な思考とフットワークで次世代の循環器内科を見据えています。指導医も多くそれぞれが専門領域を持ち、若手医師への指導にも当たっています。研修医から専攻医として活躍している方もあり、早期の専門医取得を目指しています。

一人の医師が外来から検査、執刀を担当し、実践的な診療の中で手技を体得出来ると評価を得ています。例えば研修医の場合でも、2ヶ月間の研修中に先輩医師とペアで、検査カテ(CAG)を実践する。3年目医師が煩雑でないインターベーションを担当する等です。当院では担当医が責任を持ちファーストを対応する伝統があります。大学関連病院とはいえ、一般公募により入職された方との混合チームでもある為、学閥を気にすることがなく、若手医師を含む、個々の医師の意見を柔軟に取り入れ、決して強制しない風土が出来上がっております。



4月から研修を始めた研修医も活躍しています。

カンファレンス風景



### ◎医師一人あたりの担当業務はいかがですか？

循環器内科の専門外来として週1~2コマ、病棟は25床を分担しますので5~6名を受け持っています。心臓カテーテルは週15枠を設けていますが、予定以外の緊急カテーテル等にも対応しております。近年、症例数の増加に伴い、心臓血管治療センターを設立、循環器内科専用のアンギオ室を新設しました。循環器内科医としての専門性を充分発揮出来る環境です。

現状の医師は全員、循環器科全体を網羅しながらも、それぞれの専門分野を生かした診療を担当しております。循環器の中のこの部分だけを担当したいといわれる方よりは、専門を生かしながら、チーム医療を意識して頂ける医師をお迎えしたいと考えています。また逆に循環器疾患のみでは・・・とそれ以外の内科分野のスキルアップをお考えの方には、将来の目指す医師像に合わせて担当診療内容のご相談もさせて頂いています。総合内科と5:5の割合で勤務し、資格を取得された方もありますので、是非、ご相談ください。

救急患者さんの受入は24時間体制、夜間や休日の救急カテーテル検査は、当番制にて担当。神戸市北区では、救急を輪番制としており、循環器の輪番は月に2、3回程度あります。輪番以外の日は比較的落ち着いているともいえ、オフもしっかり取得できる環境です。当直回数も他科と同様、月2~3回程度の担当となります。

### ◎求める医師像とは？

当院では、症例経験を積みたい、資格の取得を目指しておられる若手医師を募集しております。神戸市北部エリアの循環器診療の質の向上に貢献するべく、チームとして一緒に取り組んでいただける方をお迎えしたいと考えています。

京都府立大学の関連施設ではありますが、現在は一般公募による医師も就任しております。学閥を気にすることなく、ご活躍頂ける環境をお約束いたします。循環器科以外の内科診療に携わりたいと希望される方には、総合内科でプライマリ診療にも携わって頂ける環境も整っていますので、ご自身の目指される医療分野の為に、是非ご相談下さい。